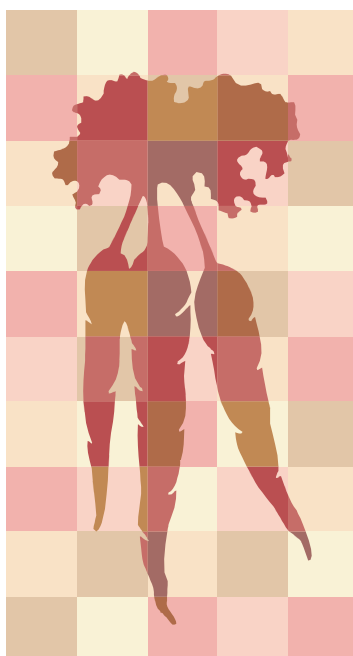


2011.10

Network newsletter No.16



- 今年も大盛況！小牧市民まつり「げんき村」 p2
- 報告：TR | 助成金交付団体 p3
- 会員紹介：名東電産株式会社 p3
- 寄稿：インターンシップを終えて p4
- 家庭菜園「明るい農縁」だより その2 p5
- 会員情報 p5
- 講座情報 p6
- インフォメーション：新会員紹介など p6

つながろう日本!!

げんき村

今年も大盛況！小牧市民まつり「げんき村」

「第32回小牧市民まつり」が10月15（土）・16（日）日に開催され、こまき市民活動ネットワークは小牧山会場で6回目となる「げんき村」を開村し、まつりを盛り上げました。

今年は「つながろう！日本」をテーマに、村内には手づくり工作や遊びの体験ブースなど、20の市民活動団体による趣向を凝らしたテントが並び、また村の中央、芝生のスペースでは大道芸コンテストや市民団体によるパフォーマンスも披露され、たくさんの来場者でにぎわいました。中でも、初企画のスタンプラリーには両日で771人の参加があり、雨の降った初日もスタンプを探して走る元気な子どもたちの姿が多く見られました。

今年も本イベントを盛り上げてくださった参加団体のみなさん、ボランティアスタッフのみなさん、大変お疲れ様でした。



迫力のある演技に大喝采！笑顔と歓声に包まれた大道芸コンテスト！



様々な体験ブースに興じる子ども達。



市民まつりのマスコットキャラクターぎっちゃん
とこまぎーも応援に駆けつけてくれました。



げんき村ではすっかりお馴染みの「ふろしき
バルーン」に大はしゃぎの子どもたち。



19ヶ国の国旗を探す
スタンプラリー。

TRI助成金交付団体決まる！

9月3日（土）東海ゴム工業本社大会議室において「TRI夢・街・人づくり助成金 in 小牧・春日井」の公開審査会が行われました。これは、小牧市または春日井市で行われる市民活動団体による社会貢献活動を支援しようと、同社がこまき市民活動ネットワークとの協働により昨年度からスタートした事業です。

審査は、書類による一次審査を通過した6団体の代表が事業内容を発表。7名の審査員により「夢づくりスタート部門」4団体、「街・人づくり部門」2団体が決定し、同社副社長佐藤信行氏より認定書が手渡されました。

各団体は、平成24年7月末までに事業を完了し、実績報告会で発表することになっています。また優秀な事業を行った団体には、さらに奨励金3万円が贈られることになっています。

◆ 夢づくりスタート部門（助成金5万円）

1. 将棋小牧支部／「将棋を通して小牧市街づくり活性化」事業
2. 篠岡里山竹の会／「子供たちと共に行う里山保全・整備」事業
3. 発達支援の会『えがお』／「心と身体の発達を促す遊びの支援『遊びの会』」事業
4. ボランティアグループなないろの森／「創作表現活動を通じたメンタルケア」事業

◆ 街・人づくり部門（助成金10万円）

1. 特定非営利活動法人尾張すずなり会／「小牧東部里山保全活動及び子供たち健全育成」事業
2. NPO法人高蔵寺ニュータウン再生市民会議／「高齢者住まいの駆け込み寺事業～ニュータウン高齢世帯の住宅改善支援～」

名東電産株式会社



当社は、自動車の車載用スイッチなどに使用されるプリント配線基板や高速道路のETC機器・GPS機器などに使用する高周波用基板の製造、携帯電話の基地局用の基盤などを製造しています。また、LED照明の製作に必要な高熱伝導率の基板材料の開発製造も始めました。

当社は、1967年8月（44年前）に現代表の船橋茂行が電気絶縁材料などの加工販売を目的に創業しましたが、現在は電子機器の製造に必要なプリント配線基板を中心に行っています。当社の「物づくりの基本は品質本位」をモットーとして今日までやってきましたが、今後とも「時代の要請に応えるべき高品質、高信頼」な製品づくりにまい進し、顧客と共に幸福を増進し、よりお役に立てる企業へと発展していきたいと願っております。

昨今の中小製造業の経営環境は、3年前に発生

したリーマンショック、さらに今回の東日本大震災の発生や歴史的な円高もあり、大変に厳しい状況に置かれていますが、当社の代表は社会貢献として6年前より小牧市の市民活動促進委員の委嘱を受け、頑張っています。また小牧市民のためのFMラジオ局の開局を目指して活動している「まちの放送局つくる隊」も応援しています。各位のご支援とご協力をお願いいたします。

代表取締役社長 船橋茂之



本社ビル（小牧市三ツ池地区内）

インターンシップを終えて

8月12日から9月11日の期間、中部大学から2名のインターンシップ生が市民活動センターで職場体験をしました。市民活動の中間支援を行うNPOの現場で、彼らはどんなことを感じ、学んだのでしょうか。その感想を紹介します。

中部大学 人文学部心理学科 3年 小塚麻未さん

小牧市市民活動センターでは、10日間で様々な研修をさせていただきました。

特に印象に残ったのは、「小牧市市民活動助成金企画提案発表会」を見学し、実際活動している市民活動団体の方の生の声を聞いたことです。それぞれの代表が、団体の成り立ちを話されていましたが、最初は自分一人で抱えていた悩みを、周りとの意見交換をすることで理解者や同志が集まり、市民活動団体として活動できるようになったとのこと。そして、それらの課題解決のために助成金を得て事業を実現しようとする姿を目の当たりにし、一人の力は小さく弱いものかもしれませんが、何人もが集まって出来る力は、大きくとても力強く素晴らしいものになるのだと感じました。

市民活動センターで研修して積んだ経験は、とても貴重なものばかりで、今後の自分の力になる、そう思っています。



中部大学 人文学部歴史地理学科 3年 小寺陽貴さん

小牧市市民活動センターでのインターンシップでは、主にパソコン業務や、NPO 講座の手伝いなどを行いました。

NPO 講座では資料の準備や会場設営など、会場づくりと講座の進め方について学びました。また、講座後のアンケート集計表作りでは集計を正確に行うことはもちろんのこと、特に個人情報間違いがないようにすることが大切だと指導を受けました。東海ゴム工業の助成金プログラムの公開審査会にも連れて行っていただき、これまで助成金の審査は書類だけだと思っていたので、プレゼンテーションによる審査の現場を見て助成金を得ることは大変なことなんだと改めて知りました。また、夢・街・人づくりのために企業が助成金を出して市民活動を援助していることは、地域の発展のために良いことだと思いました。

今回インターンシップを体験して、小牧市市民活動センターでは小牧市だけでなく、他市の団体のサポートも行っていることを知り、こうした中間支援団体をもっと必要ではないかと思いました。



家庭菜園

現在、新たに20区画を追加募集中！詳しくは、ネットワーク事務局までお問い合わせください。



「明るい農縁」だより その2

池之内赤堀地区内の「明るい農縁」では、さつまいも、じゃがいも、ニンジン、ブロッコリーなどの秋野菜が収穫の時期を迎え、代わって白菜、大根、にんにく、ニラ、小松菜など冬野菜がスルスと育ち始めています。「好物のラーメンに入れるネギとニラとニンニクが作れるようになれば」と軽い気持ちで参加したと話す久坂茂良さん（本庄在住）。「今では図書館で調べたり、農縁仲間に教えてもらったりしながら、いろいろな野菜作りにチャレンジして楽しんでますよ」とニコリ。農業アドバイザーの橋本保さんも「最初の頃には、みなさんととても上達され、思った以上の成果をあげられていますよ！」と太鼓判を押します。11月3日（祝）には、参加者同士の交流会も予定しています。

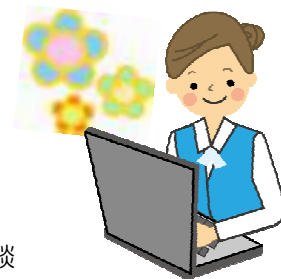


ニンジンに肥料を施している久坂さん。時間を見つけては、足しげく畑に通っているそうです。（10月19日撮影）

会員情報

社団法人小牧青年会議所 事務局員募集

- 職 種 事務局員 1 名
- 仕事内容 事務業務全般
- 勤務地 小牧市小牧5丁目253番地 小牧商工会議所5階
- 勤務時間 午前10時～午後4時 ※応相談
- 資 格 小牧市在住 パソコン経験あり
- 自 給 800円
- 雇用形態 パートタイマー
- 雇用期間 1年ごとに更新
- 休日休暇 週休2日（土・日・祝）、夏季・年末年始 ※応相談
- 事業内容 地域社会の発展に寄与する事を目的とするまちづくり事業
- 概 要 設立1972年 会員数59名
- 採用方法 【書類選考】履歴書（要写真添付）を下記採用担当宛まで郵送してください。
※応募書類については返却できませんので、あらかじめご了承ください。
なお、選考の結果は随時、通知いたします。
- 郵 送 先 〒485-0041
小牧市小牧5丁目253番地 小牧商工会議所会館5階
社団法人小牧青年会議所 事務局長／水野
電話／0568-72-0496 FAX／0568-72-1950
受付時間／午前10時～午後4時



講座情報

「伝えるコツ」を身につけよう／NPOのための広報スキルアップセミナー

NPOにとってより多くの支援者や仲間を募るために必要となるのが広報力。会報やチラシ、ポスター、WEBサイトなど、自分たちの活動を上手く伝えるコツを学びます。

- 日 時 平成23年12月7日(水) 午前10時～午後5時
- 会 場 電通中部支社11階ホール(名古屋市中区栄4-16-36)
- 講 師 松井薫(株式会社電通関西支社シニアクリエイティブディレクター)
- 内 容 10:00～15:00「伝えるコツをやってみよう」
冊子「伝えるコツ」を使い、事例をおりませながら、広報に必要なヒントと「伝えるコツ」の活用の仕方をじっくり学びます。
15:10～17:00「NPOの広報物から学ぼう」
参加団体から事前に提出いただいたチラシやパンフレットなどを用いて、講師からのコメントを中心にポイントを学びます。
※講師からのコメントを希望される団体は11月29日(火)までに広報物の事前送付が必要になります。
- 対 象 NPOなど民間非営利組織で活動している方
- 定 員 50人(先着順・定員になり次第締め切り)
- 参加費 2,000円(冊子「伝えるコツ2010→2015」を差し上げます)
- 申込・問合せ (特)パートナーシップ・サポートセンター
電話/052-762-0401 FAX/052-762-0407
E-mail/info@psc.or.jp



information information

会員向けサービスのご案内

- 貸出 ・ワンタッチテント大(1500円/基)
- ・ワンタッチテント小(1000円/基)
- ・プロジェクター(500円/台)
- ・スクリーン(500円/台)
- 利用 ・メールボックス(1,000円/年)
- ・紙折り機(1円/10枚)
- ・ラミネート(A3:200円/枚)
- (A4:100円/枚)

《新会員紹介》(敬称略)

- H23年7月以降にご入会
- ◆個人(3名) 谷田貝将典 藤原真理子
成田真朗

★市民情報ギャラリーをご利用ください★

小牧駅構内の市民情報ギャラリーでは、作品を展示して下さる市民グループを探しています。詳しくは事務局にお尋ねください。

ふらりと立ち寄った「明るい農縁」で取材に応じてくださった久坂さん。「にんじんはこれで3回も植えなおしたんだよ」と試行錯誤の失敗談も楽しげに話してくださいました。そういえば昨年、私も自宅で正月菜を蒔いたけれど、時期が遅くて小さな芽しか出なかったっけ。気が付けばお正月まであと2ヶ月。まだ、間に合うかな?今週末に植えてみよう。(ひ)

ネットワークニュースレター第16号

©発行・編集: 特定非営利活動法人 こまき市民活動ネットワーク ©発行日: 2011年10月25日

〒485-0041 小牧市小牧二丁目107番地 小牧市民館4階

TEL:(0568)74-4011 FAX:(0568)74-4070

e-mail:info@npo-komaki.net HP:http://www.npo-komaki.net/